

平成 16 年度「世界エイズデー」キャンペーンの実施について

今年度も、12月1日の「世界エイズデー」に向けて、以下のとおり、各種イベントを実施いたしますので、お知らせいたします。

（「世界エイズデー」について ※【別添1】参照）

1. レッドリボンキャンペーン2004

～“H I V”と“エイズ”の違い、知っていますか？～

- ◆ 平成 16 年 11 月 28 日（日）14:00-18:00
- ◆ 六本木ヒルズアリーナほか
- ◆ トークショー  
飯島愛（タレント）、照英（俳優）などによるトークショー
- ◆ ダンス・ライブパフォーマンス
- ◆ H I V 抗体検査（先着 50 名程度）
- ◆ コンドームオブジェ ほか ※【別添2】参照

当日の取材をご希望の方は、上記担当までご連絡ください。

（緊急連絡先：090-4814-2732〈脇本〉）

2. その他関連イベント ※【別添3】参照

## 平成16年度「世界エイズデー」実施要綱

### 1 名 称

平成16年度「世界エイズデー」

### 2 趣 旨

WHOは、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱した。

1996年より、WHOに代わって、国連のエイズ対策の総合調整を行うこととなったUNAIDS（国連合同エイズ計画）もこの活動を継承しているところである。

我が国としてもUNAIDSが提唱する“World AIDS Day”に賛同し、その趣旨を踏まえ、12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進し、エイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図る。

### 3 今年度の主題

“HIV”と“エイズ”の違い、知っていますか？

### 4 期 日

平成16年12月1日。ただし、地域の実情等に応じ、12月1日を中心とした前後の日でも差し支えないものとする。

### 5 主 唱

厚生労働省

### 6 実施方法

#### (1) 厚生労働省

関係行政機関、(財)エイズ予防財団、エイズ関連NGO（非政府組織）等の関係団体及び報道機関等の協力を得て、全国的な啓発活動の推進を図る。本年度は、12月1日（を中心とした前後の日）に記念事業を行うほか、年間を通じた普及啓発のためのキャンペーンを実施する。

#### (2) 都道府県、保健所を設置する市及び特別区

関係機関及び関係団体等との連携を密にし、それぞれの地域の実情に応じた広報計画、実施計画に基づき、次の事項も参考にしながらエイズに関する正しい知識の啓発活動を展開する。

①新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画等の協力を得た広報活動の実施

②ポスター、パンフレット、リーフレット、ビデオ等の作成・配布等による啓発活動の実施

③研修会、講習会、講演会、シンポジウム、街頭キャンペーン等の実施

④学校、企業、地区組織等に対する呼びかけ及び協力

⑤一般住民のみならず、相談窓口職員、医療従事者、教育関係者等への啓発

なお、啓発活動を行うに当たっては、エイズに関する最新の情報を入手するとともに、平成11年12月28日付「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の運用について」（健医疾発第124号）を参考とすること。

## 7 普及啓発における留意点

### (1) 個別施策層に焦点をあてた普及啓発

○平成11年10月に告示された「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」の趣旨を踏まえ、我が国に在住するすべての人々に対して、正しい知識の普及啓発の強化を図ること。特に、性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年、言語的障壁や文化的障壁のある外国人、性的指向の側面で配慮の必要な同性愛者及び性感染症としてのHIV対策を進める観点から性風俗産業の従事者並びに利用者への取組みを促進すること。

### (2) 人権の尊重

○エイズは、HIV感染後も長い無症状期を社会の一員として生活を営む病気であり、周囲の人々の理解と支援が必要であること。従って、患者・感染者が尊厳をもって暮らせる社会づくりが必要であること。

○HIVの感染力は弱く、しかも感染経路が限られているので、日常生活ではHIVに感染することはないこと。

○特に医療現場における患者・感染者の受け入れを改善していくために、エイズに対する社会全体の意識の向上と、エイズ診療に取り組む医療関係者への支援を訴え、患者・感染者が安心して医療を受けられる環境づくりを進めること。

### (3) HIV治療の進歩と検査・早期治療の重要性

○HIV治療の進歩に伴い、患者・感染者が長期間障害を持ちながらも療養できるようになったことから、平成10年4月から感染者は身体障害者の認定を受けられるようになったこと。また、身近な医療機関で適切な治療を受けられる体制がほぼ整いつつあること。

○早期発見による適切な治療の効果がますます高まっていること、検査は医療機関や最寄りの保健所等で受けることができること等の周知を図り、自発的に検査を受けやすい環境の整備に努めること。

### (4) 日本エイズストップ基金

○（財）エイズ予防財団には、「日本エイズストップ基金」が設置されており、募金を通じてNGO等を支援しているので、その活動等について周知すること。

## 8 その他

広報の実施にあたっては、患者・感染者等の人権や社会的背景に配慮するとともに、血友病患者やその家族に対する配慮が必要である。

2004年11月24日



## レッドリボンキャンペーン 2004

「“HIV”と“エイズ”の違い、知っていますか？」

トークショー&ライブ

エイズ無料検査も

コンドームオブジェが六本木に登場！

ゲスト:飯島愛、照英(トークショー)、B-FRESH、Miss Monday 他(ライブ)

●11月28日(日) ●港区・六本木ヒルズアリーナ

◆主催:厚生労働省、(財)エイズ予防財団

## 記者発表会とイベント取材のお願い

12月1日の「世界エイズデー」に向けて11月28日(日)14:00より、六本木ヒルズアリーナにて『レッドリボンキャンペーン 2004～HIVとエイズの違い、知っていますか?～』を開催します。また、これに先立って12:45より記者発表会を開催いたしますので、併せてご取材くださいますようお願い申し上げます。

タレントの飯島愛さん、俳優の照英さん、専門医の先生、HIV感染者・エイズ患者のネットワーク組織の代表者によるトークショーと、日本で初めてエイズをテーマにしたCDを発売するB-FRESHやMiss Mondayほかのアーティストによるライブも行います。エイズの無料検査の実施やコンドームオブジェも六本木ヒルズアリーナに登場します。

現在、日本ではHIV感染者・エイズ患者が増え続けています。昨年1年間の新規感染者・患者報告数は過去最高で、その感染経路の95%は性的接触による感染です。徐々に私たちの生活の身近な問題として迫ってきている「エイズ」。エイズの問題に関心を持っていただき、自分自身、そして大切なパートナーを守るためにHIVとエイズの正しい知識を持って頂くことを目的に開催いたします。



## 【 記者発表会 】

- 日 時 11月28日(日)12:45～(ご取材受付 12:00～)
- 会 場 テレビ朝日 2階 プレゼンテーションルーム(東京都港区六本木 6-9-1)
- 内 容 ①趣旨説明/厚生労働省健康局疾病対策課課長補佐 荒木裕人  
(財)エイズ予防財団理事長 島尾忠男  
②ゲスト・トーク/飯島 愛、照英 (トークショー)  
③ゲ ス ト/B-FRESH(BELL)、Miss Monday(ライブの代表として)  
④質疑応答  
⑤インタビュー/飯島 愛、照英 (テレビ朝日 1階・umu にて)

## 【 トークショー&ライブ 】

- 会 場 六本木ヒルズアリーナ(東京都港区六本木 6-9-1)
- 内 容 開会 14:00～
- 1回目 ●ダンスパフォーマンス(14:20～14:50)  
EXILE PROFESSIONAL GYM(エグザイルプロフェッショナルジム)の生徒
- トークショー(15:00～15:40)  
◎ゲスト:飯島愛さん、照英さん、専門医の先生、HIV 感染者・エイズ患者の  
ネットワーク組織「JaNP+ (ジャンププラス)」代表・長谷川博史さん  
◎テーマ:HIVとエイズの違い、知っていますか?

\*トークショーでは、今月上旬に、厚生労働省・(財)エイズ予防財団と  
Yahoo!リサーチが行ったエイズに関する意識調査結果を盛り込み  
ながら、HIVとエイズの正しい知識をお伝えしていきます。(別紙「エ  
イズに関する意識調査結果」参照)

- 2回目 ●ライブ(16:00～17:00)  
◎HIPHOP/レゲエ/R&Bのトップクリエイター達が日本で初めてエイズをテ  
ーマにしたコンピレーションアルバムを発売。これを記念するライブです。  
◎参加アーティスト:B-FRESH、Miss Monday、DJ YUTAKA、山田マン  
(from ラップ我リヤ)、CAKE-K、MIC BANK、NEVER LAND、NAOMI ほ  
か
- トークショー(17:00～17:40) 1回目と同じ

※ エイズ無料検査(先着順/約50名)受付は 14:00～(テレビ朝日・umu 内)

平成 16 年 11 月

「エイズに関する意識調査（アンケート）」結果について（抜粋）

（厚生労働省・（財）エイズ予防財団・Yahoo!リサーチ）

＜調査地域＞全国  
＜抽出フレーム＞Yahoo!リサーチモニター（モニター数 30 万人）  
＜調査対象＞男女 15-39 歳  
＜サンプル設計＞1000 人（15 歳～5 歳刻みで 200 人ずつ（男女半々））  
＜有効回答数＞1,398 人  
＜調査期間＞平成 16 年 11 月 9 日～11 月 12 日  
\*一部、計数未整理につき、今後変動する場合があります。

エイズについての基礎知識（抜粋）

- 昨年一年間の HIV 感染者・エイズ患者新規報告数は合わせて約 1,000 件（976 件）だった、ということを知っていましたか？
  - ・ 「知っていた」：18%
  - ・ 「そんなに多いの?!」：55%
  - ・ 「もっと多いと思っていた」：27%
- HIV に感染しても、早期に治療すれば、エイズ発症を抑えられる治療法が除々に研究されてきていることを知っていましたか？
  - ・ 「知っていた」：31%
  - ・ 「必ずエイズになると思っていた」：63%
  - ・ 「エイズは治ると思っていた」：6%
- 保健所では「無料」「匿名」で HIV 抗体検査を受けることができることを知っていましたか？
  - ・ 「無料」「匿名」とも知っていた：37%
  - ・ 「無料」のみ知っていた：16%
  - ・ 「匿名」のみ知っていた：16%
  - ・ 「無料」「匿名」とも知らなかった：31%

※ この他では、感染経路では性的接触が最も多いこと（正解率 87%）、HIV に感染しても一般に 10 年程度は自覚症状がないこと（同 77%）、他の STD に感染していると HIV にも感染しやすいこと（同 27%）、オーラルセックスでも感染する可能性があること（同 56%）などとなっている。

総じて、10 代の方が正解率が高く、30 代の方が正解率が低い。

## コンドームについての意識 (抜粋)

### ● セックスの時にコンドームを使いますか？

- ・ 必ず使う：32%
- ・ だいたい使う：27%
- ・ 半々くらい：8%
- ・ あまり使わない：17%
- ・ 全く使わない：17%

※ 上記の％は、恋人・夫婦間などの「特定の人」とのセックスの場合。これが「不特定の人」の場合だと、「必ず使う」が42%にアップし、「全く使わない」は9%に下がる。

また、使用目的(複数回答)についても、「特定の人」「不特定の人」いずれの場合も「避妊」目的が9割以上を占めるが、「感染予防」目的が、「特定の人」37%に対し「不特定の人」64%にアップする。

※ その他、年齢別では、「必ず使う」は10代が最も高く(53%)、30代が最も低い(26%)。

これまでの経験人数別では、「必ず使う」は「1-2人」が最も高く(45%)、「11人以上」が最も低い(18%)。

## エイズ検査についての意識 (抜粋)

### ● エイズ検査(HIV抗体検査)を受けたことがありますか？

- ・ 保健所や医療機関などで自主的に受けた：4.6%
- ・ 妊娠時・手術時などに受けた：9.2%

※ エイズ検査の受検率は上記のとおり。一方でエイズ検査について「考えたこともない」が過半数(58%)となっている(その他は「考えたことはあったが結局受検しなかった」)。

## 自分がHIVに感染する可能性 (抜粋)

### ● 自分がHIVに感染すると思いますか？

- ・ 自分は感染しない：19%
- ・ 可能性は低い：75%
- ・ 可能性は高い：6%

※ 「感染しない」「可能性は低い」が94%を占めている。

※ 今後の行動について「気を付ける」は51%で、「まあ大丈夫だと思う」が49%となっている。

- タイトル：レッドリボン「チャリティーLIVE in club areju」
- 開催日時：平成16年11月26日（金）19:00（開演）～05:00
- 開催場所：クラブ アージュ（東京都港区赤坂9-1-2 大栄赤坂ビルB1）
- 主催：クラブ アージュ
- 後援：（財）エイズ予防財団
- 内容：入場料の一部が日本エイズストップ基金に寄付される。  
来場者に予防啓発のパンフレットや Condom を配布。
  
- タイトル：Levi's Red Ribbon Night
- 開催日時：平成16年11月27日（土）18:00（開演）～21:00
- 開催場所：クラブ@Womb（東京都渋谷区円山町2-16）
- 主催：リバイ・ストラウス ジャパン(株)
- 共催：（財）エイズ予防財団
- 内容：ライブ演奏、エイズに関するオリジナル映像の放映。  
リバイスから日本エイズストップ基金への寄付金贈呈式もある。
- 出演者：ジェシー、SORA3000、Def Tech、SYZA ほか
  
- 街頭キャンペーン in 渋谷
- 開催日時：平成16年12月1日（水）15:00～17:00
- 開催場所：渋谷駅ハチ公前広場
- 主催：渋谷区保健所
- 共催：（財）エイズ予防財団
- 協力：日本家族計画協会 U-COM、国際医学生連盟（予定）
- 内容：エイズや性に関する意識調査のアンケートを実施しながら、エイズ予防の啓発物を配布する。



●タイトル：TRIBAL presents Stop AIDS Club Movement supported by MTV  
THINK LOUD

- 開催日時：平成 16 年 12 月 1 日（水） 18:30（開演）～
- 開催場所：O-east（渋谷）
- 主催：Stop AIDS club movement
- 協賛：TRIBAL GEAR
- 内容：ライブ演奏の合間にエイズ予防の CM を流す。来場者には予防啓発のパンフレットやコンドームを配布。
- 出演者：B-FRESH、DJ YUTAKA、MOOMIN、MISS MONDAY ほか

●タイトル：Act Against AIDS 2004～MUSIC PLAZA IN ORCHARD～

- 開催日時：平成 16 年 12 月 1 日（水） 18:30（開演）～
- 開催場所：Bunkamura オーチャードホール（渋谷）
- 主催：Bunkamura/TBS ラジオ
- 共催：財団法人エイズ予防財団
- 後援：Act Against AIDS 運営事務局
- 内容：森山良子さんはじめ、多彩なゲストが熱唱。幕間に森山さんがエイズについて語る。エイズ予防財団はブースを出し、募金活動も行う。
- 出演者：森山良子（ホステス）、矢野顕子、寺井尚子、平原綾香ほか